

番組審議会 第646回

開催日 令和3年2月15日(月)

■委員の出席

委員総数 10名
出席委員数 10名

出席者

| | | | |
|------|-------|-------|--|
| 委員長 | 音好宏 | | |
| 副委員長 | 中江有里 | | |
| 委員 | 江澤佐知子 | 尾縣貢 | |
| | 萱野稔人 | 喜田村洋一 | |
| | 佐藤智恵 | 長嶋有 | |
| | 藤原帰一 | 水無田気流 | |

TBSテレビ 佐々木 社長
渡辺 常務取締役
伊佐野 常務取締役
岩田 取締役
瀬戸口 編成局長
安田 コンテンツ制作局長
片山 コンテンツ制作局 バラエティ制作二部長
高柳 プロデューサー
中山 編成考査局長
鈴木 編成考査局視聴者サービス部長
天野 番組審議会事務局長

■議事概要

(1) 審議事項

- 1) 「A-Studio+」 2月5日(金)放送分について
- 2) その他

(2) 事務局報告事項

- 1) 視聴者からの声について
- 2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

(「A-Studio+」について)

□ゲストをネタに盛り上げようというトーク番組が多い中、この番組は、なかなか聞き出せないゲストの考えやエピソード、人柄を、何とか引き出そうという姿勢が、画面を通じてよくあらわれていた。ゲストへの敬意が込められた、とても丁寧につくられた番組だ。

□スタジオの雰囲気良かった。また演奏された「三線の花」は、歌詞と共に、疲れた心の癒やしにもなった。コロナ禍で、長く帰っていない故郷や、古い友達のことを思い出した30分番組だった。

□いろいろと面白い話の中で、ゲストのBEGINから、“沖縄への偏見”外国人のレーンに並ぶよう言われた話も出た。沖縄の気持ちと、一方でいつまでも、そこだけに閉じこもっているのではないといった冷めた見方など、こうした話がしっかりできて良かった。

□ゲストのジェンダーバランスを指摘したい。今年に入ってから、男性ゲストがずっと続いている。画面に男性しか映っていない。もう少し女性ゲストを増やしてはどうか。また、笑い声が入っていたが、非常に気になった。

□昨春から、アシスタントが藤ヶ谷さんになった。スタジオが皆、男性というのが、今回ちょっと気になったが、アシスタントが積極的に、番組の中で展開されることによって、鶴瓶さんと違う視点を出すという雰囲気になったのは良い。

□「イカ天」時代の映像が出るかと思ったら、写真ですごくがっかりした。しかし、それが意図であり、そのおかげで番組のムードみたいなものが、上品になっていると、視聴途中から思うようになった。

□バックストーリーの映像に切り替えたり、突然スタジオに誰かが入ってきたりというやり方でなく、基本はスタジオ一本で通す番組。周到に準備しているのに、つくった感を与えないのには感嘆した。ただ、笑い声などは気になった。

□視ている限り、宣伝関係のゲストが多い印象だが、B E G I Nは違った。何か宣伝しに来たのではないと感じられ、逆にとても面白く、エピソードが頭に入ってきた。

□金曜夜 11 時という時間帯、余りどぎつくも無く、幸せな気分週末を迎えてもらう番組は、つくれるようではなかなかつukれない。この番組は成功していると思った。

□情報過多で一方通行の番組ではなく、視聴者の思い出や感情と、上手くリンクできている。押しつけがましくない、参加型の番組で、とても一体感があつた。新しいテレビの見せ方が、よく伝わつた番組だ。

* T B S では、番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。 (T B S テレビ番組審議会事務局)